



地域日本語支援ニュース こだま 第 388 号

2020.9.24



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部: <https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

==== 目次 =====

1 ■ 日本で学ぶ：神奈川県から ■

日本での私の夢

やまとセンター友の会 カタリ タパ ビスヌ

2 ■ お知らせ ■

AJALT の著作教材を活用した

「2020 年度日本語教師のための教え方講習会（オンライン）」第 2 弾

=====

1 ■ 日本で学ぶ：神奈川県から ■

ネパールの女性カタリ タパ ビスヌさんは 7 年前に夫と一緒に、日本での楽しい生活を夢見て、また、お国の家族の問題を解決するために、お金を貯めたいと思って来日した。日本での生活は、ことばも習慣もわからず考えたよりはるかに大変だった。その中で日本語の大切さに気づき、夜間中学を卒業し、現在定時制高校 2 年に在学中である。今日本語に困っている周囲の在日ネパール人を助けられるようになったことがうれしいと記している。今後大学進学を目指す

し、日本語をもっと勉強し、通訳となって日本語で困っている在日ネパール人をもっともっと助けられるようになりたいと夢の実現を目指している。カタリさんの来日時と現在では、彼女の人間としての大きな成長をみることができる。7年間に味わった苦労と誠実な人柄から生まれた豊かな人間関係、常に感謝の気持ちを忘れない生き方に、頭が下がる思いである。

.....

日本での私の夢

やまとセンター友の会 カタリ タパ ビスヌ

◆ネパールから来日

私は、世界で一番高いヒマラヤ山脈がある小さな国ネパールから来ました。七年前に日本に来ることを考えていませんでした。ネパールの大学に合格して、良い先生になるという心の気持ちでした。

しかし、結婚後夫と日本に来ました。時間と流れとともに、人の考えは変わるものです。その時間の中で私も一つのゴールを持って、日本に来ました。そのゴールは、日本で夫と楽しく生活をしてお金をためて、ネパールにいる家族の問題を解決することでした。やっと日本に来た私はとても幸せだと思いました。しかし、来日したばかりの頃何もわからなかった私は、とても嫌な不安がたくさんありました。その上アルバイトをしなければ生活できない私は何度も面接に落ちてしまいました。どこに行っても「日本語がわからない人は仕事出きません」と言われることが多かったです。そんなことばかりで日本は、つまらないので自分の国に帰りたいなと思いました。

◆日本で働く

その後夫のお姉さんが働いていた所へ紹介してくれました。前からホテルの仕事をしなくなかったのですが実際にすることにしました。それでホテルの仕事を始めて最初の日店長が明日9時から午後2時までに十二部屋整理しなければならない仕事に入られないかと、言われました。

当日どうしても二つの部屋が残ってしまいました。店長にものすごく怒られて泣いてしまったのです。でも店長が「明日も来てね」と言ってくれたのでとても嬉しかったです。そんなことが何回もあっても私はあきらめず仕事をしながら日本語の勉強を熱心に一生懸命頑張りました。しばらくすると日本語の表現や使い方などが理解できるようになりました。

ホテルの仕事を始めて半年になりました。そして私もネパール人 40 人の中で皆より何でもできる人に選ばれて非常に嬉しかったです。その後そのホテルは他の会社が経営することになりました。私は新しく会社に入るお願いをして入りました。それからは新しい会社の店長と一緒に頑張っています。店長はとても親切です。いつも感謝しています。一日一日大切にして自宅学習しても日本語はなかなか上手くなりませんでした。

◆夜間中学へ

どうしても日本語を上手になりたいくて三年間知らなかった蒔田夜間中学校のことを知りました。そして教育委員会へ行きました。簡単に入学することができませんでした。どうして入れないんだろうと想いものすごく泣きました。そこには横浜市内の人だけが勉強と書いてありました。そうすると隣の藤沢市や鎌倉市など人々はどうするんですかと尋ねたら「しょうがないですね、あるいは、横浜市へ引っ越しするしかありません」と答えました。

ある日夫が日本語勉強をしている日本語教室の先生からいろいろな情報をもって『神奈川県横浜の夜間中学を考える会』の先生方を紹介してもらいました。そして一緒に話をさせて頂きました。そのおかげで夜間中学に入学することができました。本当に助かりました。いつも感謝しています。ありがとうございます。嬉しくて嬉しくてたまらなかったのです。夜間中学校には様々な年齢の、様々な国の生徒が在籍しておりました。それで仕事をしていたり、家のことで忙しい生徒がいる中、皆と協力して、頑張ってたたくさんの思い出を作ったことを私は絶対に忘れません。私たち外国人にとっては、夜間中学はとても重要なものです。なぜなら昼仕事しながら夜、中学校に通う人が多くなっています。あと、日本語だけの勉強する時間をもっとも増やして頂けるととても助かります。そして日本人でも夜間中学校のことを知らない人が多いです。そのため、テレビや電車やインターネットや新聞やポスターなどでアナウンスしたり、はったりしてくださると外国の皆さんにも伝えられると思います。「できれば英語やネパール語などで」。

日本に夜間中学校があったからこそ入学してひらがな・カタカナと少し漢字も理解してかなりできるようになりました。短い期間で勉強はもちろんですが日本でのマナーや団体行動をする上で大切なことを教えて頂き、卒業しました。

◆定時制高校へ

今は神奈川県湘南高校定時制に入学して、先生方が優しい気持で細かいところまで丁寧に勉強を教えて頂いております。湘南高校定時制に入学して、日本語の知識を増やして、一年生の時日本語能力試験 N3 を受験して合格しました。とても嬉しいです。今は、二年生の勉強をしながら日本語能力試験 N2 の勉強を頑張っています。

◆もっと学びたい

今度は、湘南高校を卒業して大学に進学したいと思います。将来は日本語の通訳になり、困っているネパールの人々を助けたいと思います。そのため、日本に来た時知り合った日本人の方で、自分のお父さんとして私を支えているお父さんと毎日日本語の勉強をして日本語の能力を高めたいと思っています。

日本語を勉強していて、自分が日本語を話せず苦しんだ事がありましたので、周囲のネパール人が苦しまない様に一生懸命日本語を勉強しました。そのおかげで日本語が話せる様になり、周囲のネパール人を色々な事で助ける事ができていますので、非常に嬉しいです。日本人の皆様、私たちを助けて頂き本当にありがとうございます。
